

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年9月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104076
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホーム パッション
所在地	鹿児島県鹿児島市和田一丁目16番1号 (電話) 099-269-1171
自己評価作成日	令和7年8月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年8月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

近隣にバス停(大御堂)、大型店舗、金融関連施設、コンビニ、生協病院、道向かいに脳外科などすべてが徒歩圏内になります。家族の面会や外出など出来る限り自由に出入りされています。私たちが心がけているのは本人だけでなく支える御家族への支援です。近隣の病院とは連携が取れて居ますので緊急時対応が取れる事で不安軽減に役立っています。開設当時(約20年前)からの管理者、職員が長年の経験から「認知症ケア」について家族と協力できる体制作りに励んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、系列の医療機関や本人・家族の希望するかかりつけ医との連携や協力関係が築かれており、医療面における安心となっている。
- ・家族と本人の関係が途切れることなく継続できるよう、居室面会や外出・外泊・外食等での交流を支援するとともに、LINEやショートメールを利用して事業所と家族との連絡を密に図り、家族にも寄り添った支援に努め、本人や家族が安心して最後まで過ごせるよう看取り介護にも取り組んでいる。
- ・地域との交流が困難になっている中、清掃活動や校区運動会への参加及び剪定等のボランティア受け入れ等の交流に取り組む他、町内会から講師を依頼され、相談も受けている。
- ・管理者・職員は、利用者が本人の生活ペースで過ごせるよう生活支援に取り組み、本人の希望で外出の個別支援も行っている。
- ・管理者は、職員がゆとりを持ってケアに専念でき、休憩時間や有給取得等にも配慮した働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の方々の相談も増えているのでお役に立てる様に相談しながら方向性を一緒に考える様に心がけている。	理念はパンフレットに掲載するとともにネーム裏にも記載し、職員は各自で確認してケアに当たっており、会議時にケアについて振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し行事参加や協力を行う。	町内会に加入し校区運動会見物や清掃活動に参加しており、今年度は町内会で講師の依頼を受ける等、積極的に地域との交流に取り組んでいる。庭木剪定等のボランティアや高校の実習生も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣の病院、地域の方々とのネットワークを作り相談に対応している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回民生委員や地域包括支援センター、家族会長以外に開催前に利用者からの意見を頂きサービス向上に活かせる様に務めている。	2ヶ月に1回運営推進会議を実施し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を行っている。得られた地域情報や委員の意見をサービス向上に活かせるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域住民の困りごとや福祉サービスが必要な場合は民生委員や行政に直接相談させてもらっている。	必要に応じて支所及び本庁の職員に電話や出向いて報告・相談を行い、連携を図っている。市の介護相談員を受け入れ、研修会等の参加時には情報収集にも努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し毎月記録している。研修を開催し身体拘束への取り組みを行っている。	指針があり、委員会を3ヶ月毎、研修会を年2～3回実施している。立ち上がり防止目的でベルト使用事例があり、やむを得ず行う場合の手順に沿って対応している。スピーチロックに気づいた時は管理者から注意を促し、外に出たい利用者には散歩に同行する等の対応をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の内容を研修を通じて職員の自己啓発や研鑽を行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見センターの研修や、今回実際利用されている方を受け入れたので改めて学びの機会が持てた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>初回相談から申込までの流れの中で利用者や家族の不安に対して当ホームの理念の説明し実際の問題点を十分協議して理解して頂く。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。また新聞にも苦情、相談窓口を提示している。</p>	<p>本人には日常生活の中で要望を聞き、好物を食事に取り入れる等の対応をしている。家族には面会時以外にも日頃からラインやEメールで要望の把握に努めており、その都度検討して対応に努めている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の会議以外でも必要に応じて緊急時に協議し反映させている。</p>	<p>管理者は日常の勤務の中で意見を聞くように努める他、毎月フロア毎の会議で出された意見を反映できるよう努め、情報を職員間グループラインで共有している。個別相談は管理者が随時対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>入職時は人事より職場環境、条件等に付いて説明し文面で契約を交わしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>委員会活動として外部研修に自発的に参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>母体が病院で他GHと1か月1回会議を開催し意見交換や交流を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴や病歴、人生観など家族に記載して頂き出来るだけ情報収集し把握し職員間で情報共有している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の不安軽減の為にも入居後1～2か月は家族と密に連絡を取り協力をお願いしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅時の情報を基に家族、関係機関と協力して安心できる様に支援を図る。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いや残存機能を見極め寄り添う姿勢出信頼関係を構築する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>GHは本人、家族、GHとの協調性が大切であることを了解して頂く。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の希望が一番重要であるが、馴染みの場所、人との関係性が継続できる様にお手伝いする。</p>	<p>本人が大切にしてきた家族等との関係が継続できるよう、居室面会や外出・外泊・外食等での交流を支援している。事業所からも毎月行事予定表を送付し、利用者を身近に感じてもらえるように取り組んでいる。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>自席の配置を考慮したりレクリエーション活動や会話などで交流を深める。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居前後の関係機関との調整は管理者が中心となり本人、家族への支援を継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者との日常会話の中から思いを引き出し、困難な場合はご家族から暮らしの希望や意向を聞いている	個別ケアや車での移動中・夜勤帯に話しかけて、本人の思いを把握できるように努めている。困難な場合は、家族の情報を参考に本人の態度や表情等から推測して支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族より情報収集を行い、これまでの暮らしに近づけられる様に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の介護記録や申し送りで、一人一人の現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで、意見やアイデアを出し合い、スタッフ間で共有し、必要に応じてご家族様へ状態報告を行い、現状に合った介護計画を行っている	本人や家族の希望を聞き、ミーティング時に出された職員の意見を参考に介護計画を作成している。モニタリングを毎月実施し、計画の見直しは6ヶ月毎に実施している。状況変化等の必要時にも現状に合った計画に見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきや工夫したことは記録に残し、職員間で情報交換・共有する事で、介護計画の見直しに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人の状態や希望を聞き、個別ケアを行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの影響で地域交流が困難な為、ホーム内でご本人に合わせて、力が出せる様工夫している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	健康状態の変化時は、地域連携室等へ指示を仰ぎ、希望を取り入れ職員・ご家族に付き添いの協力をお願いしている	契約時に希望を聞き、かかりつけ医の継続を支援している。各かかりつけ医の定期的な往診や受診等で適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の情報や気づきを共有し、適切な看護を受けられるよう環境づくりに努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際には、病院との連携を取り、状態の把握をし、早期退院に努めている 退院前にはカンファレンスに出席している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医より状態説明をして頂き、家族の意向を聞きながら定期的に話し合いを行い、支援している</p>	<p>重度化等の場合の対応について選択肢も含めて説明して同意書をもっており、入居後も家族の意向確認を重ねている。重度化の場合、医師から家族に病状を説明し、家族の意向を確認している。家族の意向に沿って支援に取り組み、チームで看取り介護も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し、定期的にミーティングを実施している 早期対応にも備えている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、昼間・夜間想定での訓練を行っている</p>	<p>年2回昼夜想定での避難訓練を実施し、1回消防署の立ち合いを受けている。民生委員の参加協力等、地域との協力体制がある。事業継続計画（BCP）を策定し、研修は法人で計画予定である。備蓄は4～5日分の水・食料の米・乾パン・カップ麺及び防災頭巾・カセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>居室へ訪室する際は声掛けやドアをロックし訪室する トイレ内でのパッド交換の際も、人格を傷つけないよう声掛けし、交換している</p>	<p>研修を実施し、一人ひとりに合わせた声掛けや対応を基本に取り組んでいる。入浴・排泄介助時の羞恥心への配慮や申し送り時は内容が利用者に聞こえないようにしてプライバシー保護に努める等の対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>安心して自己決定できるように声掛けを行い、自己決定が難しい方にはご家族や過去の意向に基づいて決定を促している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人の生活リズムやペースに合わせて生活して頂いている お手伝い等も無理強いしない</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的に訪問カットを依頼している 髭剃りや爪切り等も声かけや介助を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる人に合わせた食事形態で提供している 行事食や時には食べたいものを尋ね、提供している 出来る範囲での下膳等もお願いしている	月～金の夕食は配食サービスで、その他は職員が調理し個々に応じた食事形態で提供している。利用者もテーブル拭きや盛り付け・下膳をしている。行事食・誕生日の特別メニュー・ケーキを工夫して提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる人に合わせた食事形態や摂取量で提供している 水分摂取量も記録し、必要に応じて補水も行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、必要な方には介助や見守りを行って実施している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄管理表を活用し、時間やタイミングをみてトイレ案内し、パッドや排泄確認を行っている	日中は時間や様子を見て声掛けし、トイレでの排泄を基本に支援しており、退院後はオムツからリハビリパンツへの改善が見られている。身体状況等から夜間のみポータブルトイレを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	献立には食物繊維や野菜を取り入れる工夫をしている また、主治医へ相談し、整腸剤や下剤の処方を受けている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴週3回実施 希望で入られない方もおり、その際には清拭・更衣等にて対応している 声かけのタイミング等工夫している	週3回午前中を基本に入浴を支援しているが、希望等で柔軟に対応している。浴槽利用やシャワー浴を実施し、体調等に応じて清拭もしている。嫌がる場合は、声掛けを変える等の工夫で入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後より休息の声かけ・案内行うが、ご本人の希望に沿いホールで過ごす方もいる		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各自の処方薬の説明書をファイリングし、誰でも確認できるようにしている 服薬変更等もスタッフ間で共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>各自の能力に合わせて出来る事を手伝って頂いている レクリエーションの時間を作り、楽しくできる様工夫している</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>感染症等で外出が難しくなっている ご本人の希望やイベント等、個別ケアを行っている</p>	<p>近隣の散歩や希望でコンビニでの買い物をしている。本人の希望を受け外食や受診・買い物・自宅訪問等の個別支援にも取り組んでいる。季節の花見や港の船見物等のドライブに出かけるなど、できるだけ戸外に出かけられるように取り組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族に了承を得て、希望によりお金を渡している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を持参している方もいる ご家族様に連絡を取り、ご本人と話ができる様にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室・ホール等は24時間換気を行っている	ホールは空気清浄機やエアコン・24時間換気で適度な室内環境に調節し、窓を開けての換気も行っている。季節の飾りつけや花で季節を感じてもらえるように工夫し、利用者は思い思いにくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人の状態や合う合わない等を考慮し、席替えを行っている スタッフが間に入り、コミュニケーションが取れるようにしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビの設置をしたり、花などを飾り工夫している	居室にはベッドや洗面台・タンク・加湿器・エアコンが備えてあり、本人は使い慣れた寝具やテレビ・ハンガーラックを持ち込んだり、写真や遺影・ぬいぐるみ等を身近に置いて安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関にはセンサーを設置している トイレ内・廊下には手すりを設置している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない